

平成30年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 | | | | |
|---------|-----------------|---------------|---------|---------|
| 事務事業名 | 避難行動要支援者支援事業 | 担当課 | 社会福祉課 | |
| 総合計画 | 政策 | 安全・安心に暮らせるまち | 計画期間 | 平成18年度～ |
| | 施策 | 防災対策の推進 | 種別 | 法定+任意 |
| | 基本事業 | 避難行動要支援者の避難支援 | 市民協働 | 事業協力 |
| 予算科目コード | 01-030101-07 単独 | 根拠法令・条例等 | 災害対策基本法 | |

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

| 背景（なぜ始めたのか） | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） |
|--|--|
| 大規模災害の発生時に自力での避難が困難な高齢者、障がい者などの要支援者を支援するための避難行動要支援者名簿を作成し、支援体制の確立を目指し開始したもの。 | 災害に際し自ら避難することが困難な避難行動要支援者の名簿を作成するとともに、自治会・自主防災組織・民生委員等の避難支援等関係者に避難行動要支援者の名簿を提供し、その避難支援等関係者の協力を得て、安否の確認等を行う。 ※守谷市避難行動要支援者登録制度実施要綱 守谷市災害時要援護者対策検討委員会設置要綱 |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか） | ※評価欄の指標値について 平成30年度に新要綱を制定し、旧要綱は廃止した。 これにより、平成30年度までは、旧要綱に基づく指標値で、平成31年度以降は、新要綱に基づく指標値となります。 旧要綱：守谷市災害時要援護者登録事業実施要綱 新要綱：守谷市避難行動要支援者登録制度実施要綱 |
| （参考）基本事業の目指す姿 | |
| 避難行動要支援者が安全に避難し、適切な避難生活が送れるよう努める。 | |

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

| 目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定） | 具体的内容とスケジュール |
|---|--|
| 災害時に支援が必要な方に、避難支援等関係者の協力を得て安否確認や避難支援を速やかに行うために、「避難行動要支援者名簿登録制度」により名簿を活用した避難支援等への取組を避難支援等関係者などに理解と協力を促す。 | ○平成30年度上半期の制度構築のため取組 4月～6月 制度の構築（実施要綱及びマニュアルの作成） 7月 制度の庁議決定 議会への全協報告 8月～10月 新たな制度での対象者等の同意取得（通知→返信→受付処理） 【今後の予定】 11月～12月 システム調整及び同意書等の入力・確認処理 1月 名簿の作成 2月～5月 名簿の提供作業（主に自治会など） |
| 改善内容（課題解決に向けた解決策） | |
| 避難支援等関係者（自治会、自主防災組織、民生委員、消防署、警察署、社協）においては、制度の趣旨を十分に理解をいただくとともに、地域にあった避難支援等の体制構築に努めることが必要である。市では、先進的な取組の事例集を配付し、地域での避難支援等の取組を促進する。 | |
| 次年度のコストの方向性（→その理由） | |
| <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減 | 平成30年度は、法律改正に伴う新たな制度の構築と運用を開始した。次年度では、前年の行程を踏まえた検証に基づき、今後は名簿対象者にかかる「個別計画」の実施などの取組検討を開始することになるため、コストの方向性は現状維持とする。 |

| H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り） | |
|--|--|
| H29年度の評価（課題） | H30年度の取組（評価、課題への対応） |
| <p>災害対策基本法改正に伴い、条例の整備について検討した。 制度の構築に際しては、自治会等への名簿提供において事務負担の軽減と個人情報の取扱いを十分に配慮した、分かりやすい制度とすることが課題となった。</p> | <p>災害対策基本法に基づく、避難行動要支援者登録制度実施要綱を制定し旧制度は廃止した。併せて名簿掲載者及び避難支援等関係者への周知に努めた。 名簿掲載者には、名簿提供の同意確認を行い、平成31年2月から同意者名簿（同意者のみ掲載）の提供を開始した。 また、名簿提供に際しては、個人情報保護の観点から名簿受領団体に対し、個人情報管理に関する誓約書を求めるとともに避難支援マニュアルを用いて、個人情報の取扱い等の制度理解に努めた。</p> |

| 評価（指標の推移、今後の方向性） | | | | | |
|---|--|---|-------|-------|----------|
| 指標名 | 基準値（H26） | H29年度 | H30年度 | R01年度 | 目標値（R03） |
| 要援護者台帳登録者のうち登録情報の情報提供承諾の割合（%） | 78.60 | 80.60 | 77.10 | 80.00 | 83.00 |
| 要援護者台帳登録者のうち自治会等に情報を提供している方の割合（%） | 53.10 | 64.30 | 58.90 | 62.00 | 65.00 |
| 成果の動向（→その理由） | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 | 災害発生時に、避難行動要支援者への安否確認や避難支援等を速やかにできるよう、自治会、自主防災組織及び民生委員等に名簿を提供し、地域における避難支援等の体制づくりを促進している。 | | | | |
| 今後の事業の方向性（→その理由） | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持 | <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 | 避難支援等関係者への同意者名簿の提供にあたり、名簿提供対象団体の名簿受領の意志について調査を行った。この調査で、団体が「名簿を受領できない」と回答した理由（課題等）を検証し、名簿を受領していただくための課題やその対策について検討する。 | | | |

| コストの推移 | | | | | | |
|-------------|--------|---------|---------|----------|---------|---------|
| 項目 | | H28年度決算 | H29年度決算 | H30年度決算 | R01年度予算 | R02年度見込 |
| 事業費 | 計 | 769 | 486 | 1,029 | 915 | 915 |
| | 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 769 | 486 | 1,029 | 915 | 915 |
| 正職員人工数（時間数） | | 345.00 | 659.00 | 1,484.00 | 0.00 | 0.00 |
| 正職員人件費 | | 1,415 | 2,702 | 6,196 | 0 | 0 |
| トータルコスト | | 2,184 | 3,188 | 7,225 | 915 | 915 |

平成30年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 | | | |
|---------|-----------------|--------------|-------|
| 事務事業名 | 河川関係各種負担金 | 担当課 | 建設課 |
| 総合計画 | 政策 | 安全・安心に暮らせるまち | 計画期間 |
| | 施策 | 防災対策の推進 | 年度～ |
| | 基本事業 | 施策の総合推進 | 種別 |
| 市民協働 | | | 任意の事務 |
| 予算科目コード | 01-080301-01 単独 | 根拠法令・条例等 | 各団体規約 |

| なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？ | |
|----------------------------------|---|
| 背景（なぜ始めたのか） | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） |
| 河川の治水・利水・河川環境整備等を図るため各種団体が構成された。 | 河川関係各種負担金 1. 旅費 12千円 2. 負担金補助及び交付金 256千円 ・五県連合利根川上流改修期成同盟会 ・小貝川改修促進期成同盟会 ・利根川治水同盟会 ・利根川上流河川利用者会議 ・鬼怒川下流改修期成同盟会 ・鬼怒川・小貝川流域ネットワーク会議 ・茨城県河川協会中小河川部会 |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか） | |
| 各種団体の活動により河川改修の促進を図る。 | |
| （参考）基本事業の目指す姿 | |
| 施策を総合的に推進する。 | |

| 事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか） | |
|---|--------------|
| 目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定） | 具体的内容とスケジュール |
| | |
| 改善内容（課題解決に向けた解決策） | |
| | |
| 次年度のコストの方向性（→その理由） | |
| <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減 | |

| H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り） | |
|--|---------------------|
| H29年度の評価（課題） | H30年度の実績（評価、課題への対応） |
| | |

| 評価（指標の推移、今後の方向性） | | | | | |
|--|----------|-------|-------|-------|----------|
| 指標名 | 基準値（H26） | H29年度 | H30年度 | R01年度 | 目標値（R03） |
| | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 成果の動向（→その理由） | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 | | | | | |
| 今後の事業の方向性（→その理由） | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 | | | | | |

| コストの推移 | | | | | | |
|-------------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 項目 | | H28年度決算 | H29年度決算 | H30年度決算 | R01年度予算 | R02年度見込 |
| 事業費 | 計 | 280 | 259 | 255 | 262 | 262 |
| | 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 280 | 259 | 255 | 262 | 262 |
| 正職員人工数（時間数） | | 108.00 | 81.00 | 59.00 | 0.00 | 0.00 |
| 正職員人件費 | | 443 | 332 | 246 | 0 | 0 |
| トータルコスト | | 723 | 591 | 501 | 262 | 262 |